

「教育パワーアップ！出前講座」の内容

- 講座名 水道水がみなさんに届くまで
- 対 象 和歌山市小学校4年生

和歌山市企業局 水道工務部 水道企画課

- ・パンフレット配布（わたしたちの水道）
- ・自己紹介（挨拶）（1分）



① **パンフレットで説明**（3分）

- ・水とわたしたちの暮らし（P.2～3）
- ・わたしたちの使う水の量（P.4）
- ・和歌山市企業局のれきし（P.5）
- ・水の旅（P.6～7）



② **実験**（20分）

- ・企業局のしごと【水をつくる】（P.8～9）



・話の途中で、「みなさんが一番水を使うのはどんなとき？」等の質問をします。



- ・紀の川の原水及び濁り水を見てもらい、凝集剤（PAC）を注入していき、濁りが沈殿するところを見てもらいます。
- ・凝集剤（PAC）で沈殿させた上水を、更にもろ過（ペットボトルで作成したもの）し、違いを見てもらいます。
- ・プラカップに同じ量のろ材（アンスラサイト・砂・小石）を入れて、実際にどれが重たいかを当ててもらい（一人ずつ回しクイズ形式）、重たいものから順番に下になる事を説明します。

③ 模擬体験 (5分)

- 企業局のしごと【水をおくる】(P.10~11)

可とう管・耐震継手の模型で説明
(模型を実際に触ってもらう等)



- 模型を端から順番に回し、実際に手に取って仕組みを見てもらいます。

パンフレットで説明 (1分)

- 水がなかったころ(P.12)
- 水を大切に(P.13)



教室から移動(蛇口がある所で)

模擬体験 (8分)

※④と⑤は、どちらかを選択してもらいます。

④ 漏水探知の体験

音聴棒を使って、実際に水の流れている音を聞いてもらいます。



- 手洗い場に移動してもらい、音聴棒を使って蛇口の根元に当てて水を出したり止めたりし、流れている音を聞いてもらいます。(4~5人ずつ)

⑤ 非常用給水袋(6ℓ)を背負う体験 一人ずつ背中に背負ってもらいます。



非常用給水袋(6ℓ)

- 地震等の災害時や事故などの緊急時に使用する給水袋(6ℓ)をリュックサックのように背中に背負ってもらい重さを体験してもらいます。



質疑応答

(7分)

- 講座の内容や水道水について、疑問に思う事や興味を持った事などを質問をしてもらいます。(4～5人程度)

- (挨拶) 有難うございました
-

計 (45分)

☆出前講座についての問い合わせ先 和歌山市企業局 水道工務部 水道企画課 (073-435-1127)